

第3回策定委員会意見と対応方針

1. 都市計画マスタープラン

	意見	対応方針
都市構造	① コンパクトアンドネットワークがもう少し具体的にイメージできるように工夫してほしい。	⇒ コンパクトアンドネットワークのイメージ図を入れる。 ※P4 参照
	国交省などで示されているコンパクト化のイメージを入れてほしい。	
	② 地域拠点とエリア・コミュニティ拠点のつながりが必要では？	⇒ エリア・コミュニティ拠点は、廃校後の跡地を校区レベルでの地域拠点として活用するために位置付けるものであるが、小中学校付近はすでにゆうゆうバス等のバス停が設置されており、ほぼ、アクセス強化軸で結ばれていると考えている。
	③ 沿道型土地利用ゾーンに県道沿い追加の予定は？ 圃場整備済み箇所沿道は？	⇒ 総合振興計画と整合したゾーン設定を基本としたうえで、都市マスでの拡大の適否については関係課と調整します。 ⇒ 圃場整備は、農地利用を目的とする基盤整備であるため、基本的には対象にすべきではないと考えている。
交通	① 自動運転車が実用化されてくるのではないか。行動範囲も広がる。それを見越しての書き込みはされているか。もう少し盛り込んでもらいたい。	⇒ 自動運転には、専用レーン（道路空間の再配分）等のインフラ及び諸法令の整備が必要であり、全国的な課題と考える。よって現段階では、「交通インフラへの先進技術の導入を促進します」及び「次世代モビリティや人中心の道路空間等によるアクセスの向上を推進します」の書きぶりにとどめ、より具体的な検討が必要となった時点で、都市マスの見直しを行うこととする。
	② 狭あい道路の整備はもう少し主張した方がよい。県道国道の中でも拡幅が必要な箇所がある。区画整理していないところの狭あい道路も。	⇒ 狭あい道路は第4章（分野別の方針）の中で「交通」の中に記載があるだけなので、「住環境」及び「防犯・防災」に、防災・都市基盤を整備する観点で追加する。項目としては、「緊急車両の通行」、「災害時における避難への配慮」を予定している。
	狭あい道路は防災の観点が強いと思うが、交通機能という捉え方をしているのか。	
	道路には複数の役割があるため、それ	

意見		対応方針
	<p>それぞれにかき分ける方が良い。</p> <p>③ 県道の自転車道が整備されているが、市がどのようにつないでいくか。</p>	<p>⇒ 熊谷の市街地においては、すでに一部、歩道内の色分けや北大通りに自転車通行帯を明示し、ネットワーク化が進んでいる。また、令和3年度に「自転車活用推進計画」を策定予定であり、その中で広域でのネットワーク化を計画していく。</p>
土地利用	<p>① 南部地域の開発の話を残すのか消すのか？</p>	<p>⇒ 埼玉県で構想の見直しを行ったことにより、熊谷市においても総合振興計画から削除された。</p> <p>当該地域については、総合振興計画との整合を図り、産業誘導ゾーンの位置づけを行う。</p>
水と緑	<p>① 星川以外の農業用水の通年通水について述べられていない。</p>	<p>⇒ 農業用水の通年通水については、関係団体との調整が整った段階での実施と考える。</p> <p>⇒ 農業用水についても資源ととらえ「水と緑」や「景観」等の分野での記載を検討する。</p>
防災	<p>① 熊谷西高校あたりに緊急輸送道路が他にもあったと思うので確認してほしい。</p>	<p>⇒ 熊谷貨物ターミナルを通る路線を追加する。</p>
	<p>② 地震についての記載はしないのか。</p>	<p>⇒ 第1章(現況と課題)、第4章(分野別の方針)に地震に関する記載を追加する。項目としては「建物・インフラの耐震化」、「無電柱化」、「防災知識の普及」など。</p>
	<p>③ 福川の最下流にポンプを付ければ、妻沼東部の洪水問題は解決する。</p>	<p>⇒ 福川水門へのポンプ設置を要望していた時期はあるが、深谷市内に福川調節池ができたことにより、当初の目的は達成されている。</p>
産業・活力	<p>① コト消費が大事になってきているが、盛り込む予定は？</p>	<p>⇒ 内容としては第4章(分野別の方針)に盛り込み済み</p> <p>【水と緑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点的な公園の維持・充実を推進します。 ・多様なプログラムの運営と機能の拡充を推進します。 <p>【産業・活力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間による道路やオープンスペース等の

意見		対応方針
		活用を促進します。
目標値	① 方針の部分は、総振のような目標値があるとわかりやすい。	⇒ マスタープランは都市計画に関する「方針」であり、具体的な取組みや数値目標を設定する「計画」とは性質が異なるため、目標値設定は予定していない。 ⇒ 立地適正化計画では目標値を定めて5年ごとに評価を行う。 ⇒ マスタープランにおける進捗管理については、他市の事例等を踏まえながら方法を検討する。
	目標値は入れる都市・入れない都市2通りある。市としてどのように考えるか整理してほしい。	
方針全般	① 冊子の構成として、課題に対しての回答がわかりづらい。	⇒ 課題との対応状況を精査する。 ⇒ 資料編に課題と方針の対応表をつける。
イメージ図	① 方針だけでなくイメージ図が必要だと思う。	⇒ 計画書の概略を総括したイメージ図を入れる方向で検討する。
	ワクワクするような絵があると良い。	

2. 資料に対する要望

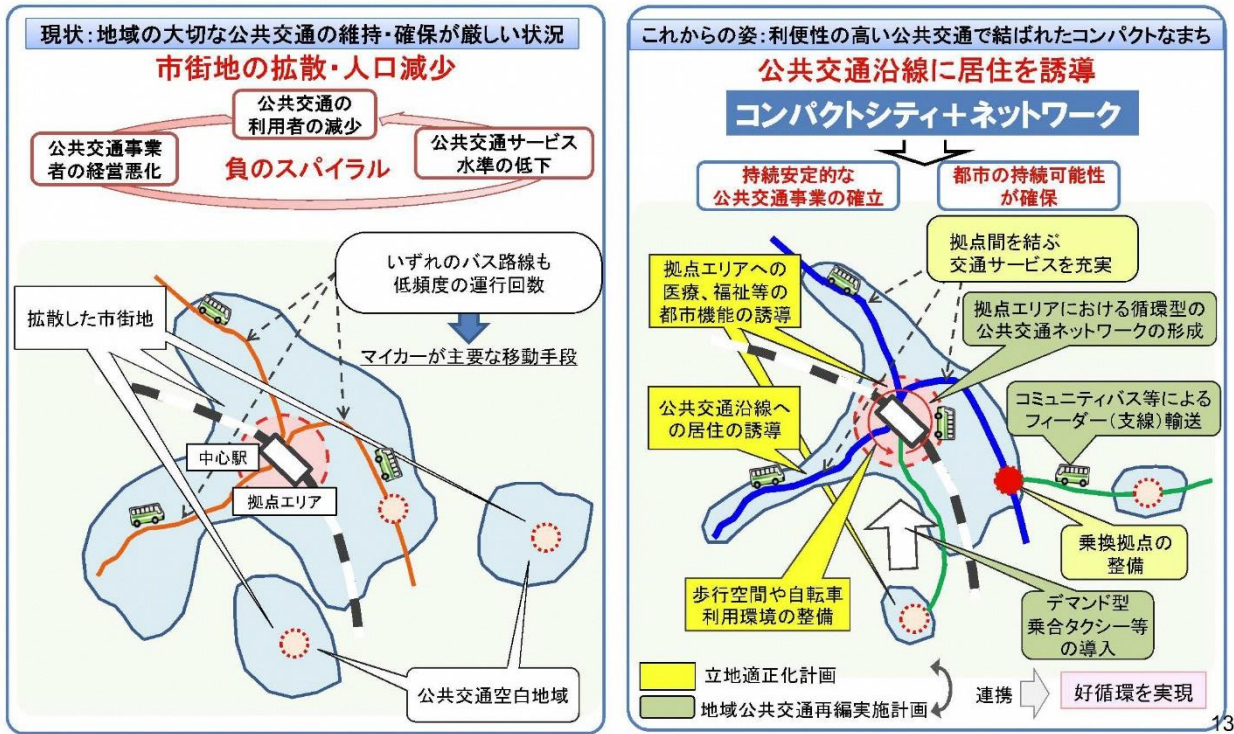
意見	対応方針
① 図の凡例が小さい。	⇒ 拡大表示する。
② 浸水想定区域図は、対象河川がわかるようにしてほしい。	⇒ 対象河川図を追加する。
③ 上位計画をまとめたものがあると良い。	⇒ 上位計画は総合振興計画（概要版）を第1回会議で配布済み、基礎調査報告書は会議の会場に配備する。

3. アンケート・ワークショップ報告

意見	対応方針
① 市民アンケートは年齢・居住地の回答者割合にばらつきがある。不足する分を補完することを考えているか？	⇒ 他課で実施した子育て世代を対象とする調査や障がい者団体の意見聴取の結果を活用し、意見の補完を行う。 ⇒ 5地区でオープンハウス型説明会を開催する。スーパーマーケットや熊谷駅、籠原駅周辺での開催を予定している。
オープンハウスを実施する際は、若い層に興味をもってもらえる配慮をしてもらいたい。	

意見	対応方針
② アンケート結果は、20歳代など母数が少ないものもあり、割合だけだと誤ったメッセージになる。統計的に問題ないか。	⇒ 指摘のとおり対応する。
グラフは母数と実数を示すようにしてもらいたい。	

■ 追加するイメージ図のサンプル（コンパクトアンドネットワークの図）



出典：立地適正化計画の手引き（国土交通省）